



矢野 邦夫 先生

浜松医療センター

院長補佐 兼 感染症内科長 兼 臨床研修管理室長 兼 衛生管理室長

'81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年 フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター(2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更)。「96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。「97年 感染症内科長/衛生管理室長に就任。2011年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

View

株式会社メディコン

COVID-19患者で入院が必要となるリスク要因

COVID-19の流行によって、「どのような人々が重症化して入院を必要とするのか？」が次第に明らかになってきた。そういった人々には自宅滞在や社会的距離の確保などの感染予防や基礎疾患の管理を啓発し、周囲の人々が布マスクの着用などを実施してSARS-CoV-2の伝播を防ぐことが大切である。CDCのMMWR(週報)にジョージア州アトランタ市での入院のリスク要因についての調査結果が報告されているので紹介する(1)。

COVID-19で入院した米国人患者についてのこれまでの報告によると、「高齢者」「男性」「黒人」の割合が高かった。また、COVID-19の入院患者を非入院患者を比較すると、糖尿病、高血圧、肥満、心血管疾患、慢性腎臓疾患、慢性呼吸器疾患などの基礎疾患を持っている割合が高いことも知られている。この報告では、ジョージア州アトランタ市の6つの救急病院および関連する外来診療所から、検査確認されたCOVID-19の18歳以上の入院患者220人と非入院患者311人の医療記録が抽出された。入院患者には、観察入院の患者および救急部門での死亡例が含まれている。

■ トリアージとSARS-CoV-2検査

2020年3月1日～4月7日の期間、COVID-19に一致する症状のある来院患者を管理するために、電話トリアージが実施された。そして、重篤な症状(重度の息切れ、錯乱、喀血など)のある患者は、救急部に送られた。その他の有症状の人は外来でSARS-CoV-2検査を受けることができた。ただし、検査対象は限られており、医療従事者およびCOVID-19による重症化のリスクが高い患者(65歳以上の患者、糖尿病、心血管疾患、慢性呼吸器疾患などの基礎疾患のある患者)が優先された。

■ 解析

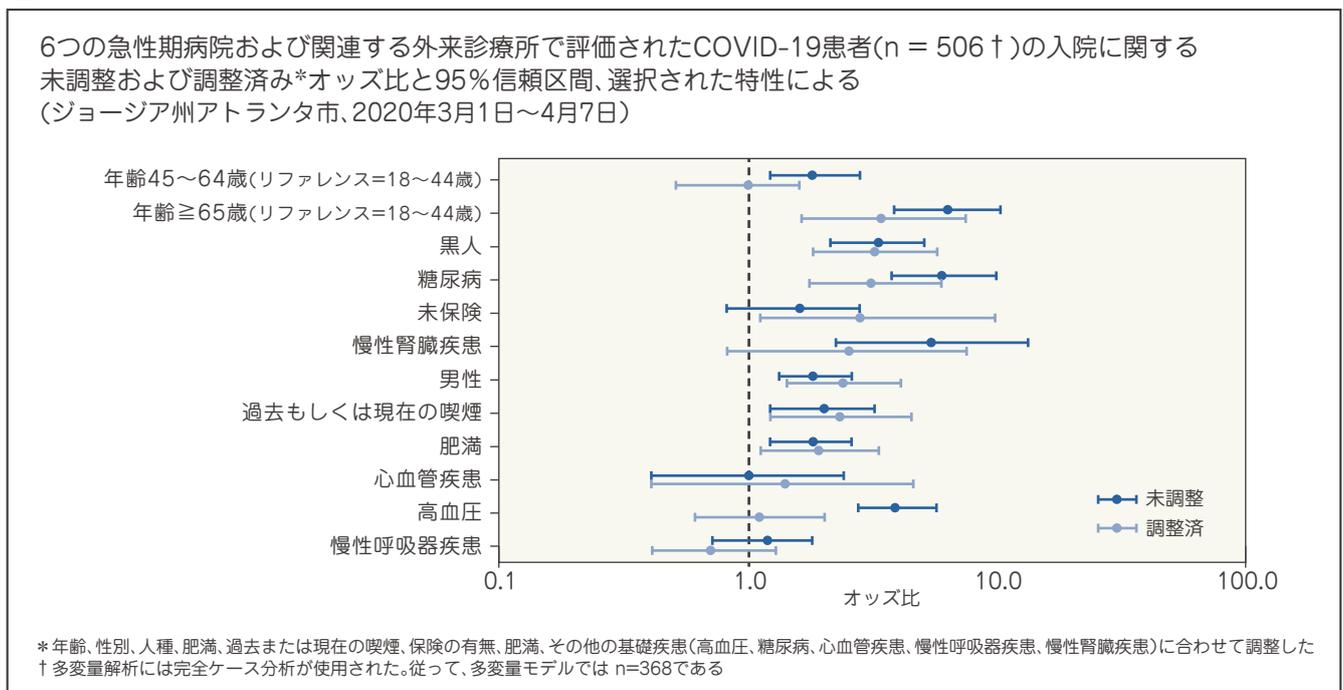
人種は黒人またはその他の人種として分類され、肥満はボディマスインデックス $\geq 30\text{kg}/\text{m}^2$ として定義された。年齢は18～44歳、45～64歳、65歳以上に分類され、喫煙は過去または現在の喫煙者として定義された。心血管疾患については高血圧を除外した。慢性腎臓疾患には末期腎疾患が含まれた。医療関係者の定義は、患者との接触または医療環境での感染性病原体に曝露する可能性がある職業の人とした。そして、入院に関連する患者の特徴を特定するために、多変量解析が行われた。

■ 結 果

非入院患者(311人)と比較して、入院患者(220人)は高齢(年齢中央値=61歳)であり、男性(52%)と黒人(79%)の割合が多かった。また、肥満、喫煙、高血圧、糖尿病、慢性腎臓疾患などの基礎疾患は入院患者でより多く見られた。症状については、入院患者と非入院患者の両方で発熱や咳がよく報告されたのに対し、入院患者では息切れがより頻回に報告された。非入院患者では、悪寒、頭痛、嗅覚や味覚の消失、咽頭痛がより多くみられた。

年齢、性別、人種、肥満、喫煙状況、保険の有無、高血圧、糖尿病、心血管疾患、慢性呼吸器疾患、慢性腎臓疾患を調整すると、入院に独立して関連する特性は65歳以上(調整オッズ比[aOR] = 3.4)、黒人(aOR = 3.2)、糖尿病(aOR = 3.1)、無保険(aOR = 2.8)、男性(aOR = 2.4)、喫煙(aOR = 2.3)、肥満(aOR = 1.9)であった(図)。

図



■ 考 察

65歳以上であることは、入院と関連しており、これは過去の調査結果と一致している。COVID-19の入院患者は、非入院患者よりも糖尿病を持ち、肥満であることが多く、これらの根本的な状態と病気の重症度とは関係があることが示唆された。特に、糖尿病はCOVID-19および中東呼吸器症候群の入院患者での重症化に関連していることが判明している。肥満についてもCOVID-19の入院患者で大きな割合を占めており、入院に関連すると報告されている。その他の基礎疾患と患者の特徴を調整すると、高血圧は入院に関連しなかった。

COVID-19は重篤な転帰(死亡を含む)につながる可能性がある。そのため、COVID-19による入院の危険性が最も高い人々には自宅滞在や社会的距離の確保などの感染予防、および、基礎疾患を管理することが啓発されるべきである。そして、リスクの高い人々を守るために、可能な限り、布マスクを着用するなど、他の人への感染の拡大を防ぐ手段を実施する必要がある。

[文献]

- (1) Killerby ME, et al. Characteristics associated with hospitalization among patients with COVID-19 — Metropolitan Atlanta, Georgia, March–April 2020
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/69/wr/pdfs/mm6925e1-H.pdf>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

